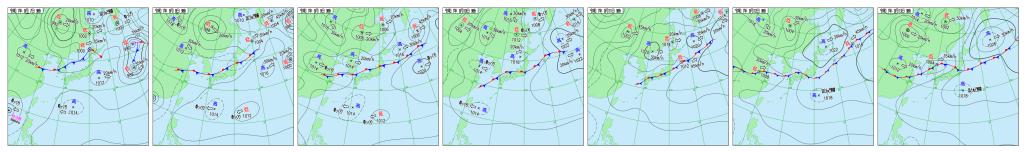
## ■天気図(9月7日~9月13日 ※毎日午前9時を掲載)



#### 【今期間の天候について】

#### ■気圧配置の特徴

7日、前線を伴った低気圧が日本海~オホーツク 海を東進。前線が華中から日本の東に伸びた。8 日、秋雨前線が本州付近に停滞。高気圧の中心が、 日本の南をゆっくり西進。9日、秋雨前線が華中か ら西日本の日本海側沿岸を通り、日本の東に停滞。 10 日、秋雨前線が東シナ海から西日本の日本海側 沿岸・東日本北部~東北南部辺りを通り、日本の東 にのびて停滞。11日、前線が西日本~東日本に停 滞。夜にかけては次第に南下した。前線上の低気圧 が三陸沖を東進。12日、秋雨前線が東シナ海~日 本のはるか東にかけて東西にのび、本州付近に停 滞。前線上に低気圧発生、前線は本州付近に停滞す る秋雨前線と一体化し、華中から日本のはるか東海 上にかけて東西に長くのびた秋雨前線が停滞した。 13日、前線が日本の東から東日本と日本海を通り 黄海へのび、前線上の低気圧が朝鮮半島を通過。日 本海を東北東進。

#### ■降水

7日、前線の影響で、日本海側を中心に雨。北日 本日本海側、北陸、近畿などで激しい雨や非常に激 しい雨を観測。8日、前線の影響で明け方にかけて 北陸で雨が強まった。9日、暖かく湿った空気が流 れ込んだ影響で東北~九州にかけて大気の状態が不 安定となり、局地的に雨雲が発達。福島県で非常に 激しい雨が降った。10日、東北~九州にかけ大気 の状態が不安定に。局地的に雨雲が発達し熊本県と 群馬県で記録的短時間大雨情報が発表された。11 日、関東南部は午後になり大気の状態が非常に不安 定に。シアラインの影響で、神奈川県と東京都付近 でも雨雲が発達し、東京都世田谷区で 92mm/h の猛 烈な雨を観測する記録的な大雨となった。12日、 西~東日本の広範囲で大気の状態が不安定となり、 石川県輪島市門前で9月の1位の値を更新する猛烈 な雨を観測。13日、北日本は天気が下り坂に。午 後は日本海側から活発な雨雲が広がり、北海道で記 録的な大雨となった。

### ■気温

7日、北~西日本の日本海側は、雨の影響で気温 の上昇は鈍かったものの、西日本から東日本の太平 洋側では残暑が厳しく、四国地方や九州を中心に猛 暑となった。8日、西~東日本の太平洋側を中心に 引き続き残暑が厳しく、甲府や東京でも猛暑日を記 録。9日、東~西日本にかけて太平洋側を中心に日 差しが届き、東海や近畿で猛烈な暑さに。猛暑日地 点数は前日より増加。名古屋では36.5℃を観測。 10日、関東~近畿・四国で日差しが届き、東海や 近畿で猛烈な暑さ。名古屋では35.0℃を観測し、 猛暑日日数が50日となりで統計開始以来、最も多 い日数となった。11日、西日本では九州や中国で 天気が回復し、日差しが届いたが、猛暑日地点はな く、8月11日以来約1か月ぶりに0となった。12 日、北東の涼しい気流の影響で、北~東日本では気 温が下がり、涼しい所が多かった。13日、前線の 南側に位置する関東~西日本にかけ日差しの届き気 温が上がった。

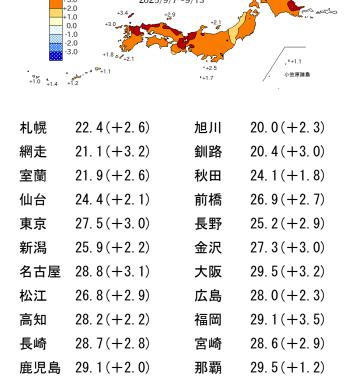
### ■今期間(9月7日~9月13日)の天候のまとめ

平均気温は、低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、全国的に平年より高く、特に西日本の日本海側で高かった。福岡では平年より 3.5℃高い気温となった。

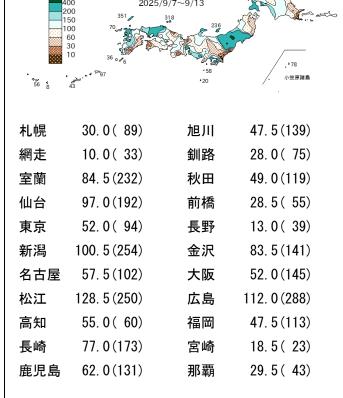
降水量は、前線の影響で北海道の道南や東北南部、北陸、中国、九州北部で平年より多かった。関東は南部で局地的に発達した雨雲がかかり、東京で記録的大雨となるなど、平年より多くなった。西日本の太平洋側では前線の影響を受けにくく、平年より少なかった。

日照時間は、前線や低気圧の影響で東北や東日本〜西日本の日本海側にかけて、平年より少なかった。一方、北海道や関東から西の太平洋側では平年並みかやや 多かった。

# ■平均気温 (°C) と平年差 (°C)



# ■期間総降水量(mm)と平年比(%)



# ■期間総日照時間(分)と平年比(%)



札幌	115	旭川	114	網走	115
釧路	135	室蘭	109	秋田	72
仙台	44	前橋	99	東京	99
長野	76	新潟	65	金沢	77
名古屋	95	大阪	126	松江	70
広島	66	高知	126	福岡	72
長崎	92	宮崎	135	鹿児島	92
那覇	118				